

広報

いまり

No.455

あなたは

どんな一年を

描きますか？

1月1日

謹賀新年

'92

1月

〈人口〉 男28,604人 女32,017人 計60,621人(前月比+38)〈世帯数〉17,555世帯(12月1日現在)

国際文化都市目指し

伊万里市長

竹内通教

市民の皆さん、明けましておめでとございませう。

平成四年は山下厚生大臣も誕生し井本知事も県政の先頭に立たれ、伊万里市発展の最大のチャンスOfYearと思ひます。

もちろん昨年より幾多の大型事業が始まり、自動車産業も進出するなど大飛躍をしていますが、今年にはさらにチャンスを生かして伊万里湾を水産・飼料のコンビナートとし、高速体系としての農道空港や西九州自動車道の推進、図書館や陶芸館など文化のハード面を充実し、二十一世紀における市政の方向づけと、今世紀を文化でしめくくれるよう努力します。

市政は市民生活の全般に及び、いづれも大事ですが、平成四年の特徴をあげれば、

第一に国際交流のまちづくりを進め、伊万里のまちの全体が古伊万里のメッカになるよう工夫し、今年には三か国語同時通訳のできる市民センターが落成するので、きたるべき国際陶芸祭に向けて国際的フォーラムやイベントを行い、世界伊万里会議設立を目指します。

伊万里学の確立と

人づくり

第一に伊万里には海外雄飛の歴史があり、国際交流の原典ともなる伊万里学を確立して、すぐれた国際人を育てます。

第二は厚生大臣の誕生を機に世界にも誇れるモデル長寿村を招致して、生涯学習のまちを築きたいと思ひます。

第四に産業面では日本一のブランド品の開発をさらに進め、イベントや展示会を大消

費地で行い、伊万里の名声を内外にゆるぎないものにしなければなりません。

産業づくりや地域づくりは人づくりが土台ですから、高度教育機関の設立を目標に二十一世紀村づくり塾や伊万里アカデミーなどあらゆる部門で研修の場を広げ、次代を担う後継者づくりをしたいと思ひます。

平成四年はよいことの多い、あわせの年になるよう努力いたします。



●地域づくりは人づくりから…。21世紀村づくり塾経営講座で、佐大下村教授を囲んでの夜なべ談義

團伊玖磨先生が「伊万里」という音感はずばらしいと伊万里の発音をブランドと評され、大連市との交流では大連市の要人が伊万里という文字の吉祥をたたえられ、豪華絢爛の古伊万里が世界で珍重されていて、私はいつも「伊万里」という名をつけてくれた祖先に感謝していますが、それとともに「伊万里」という名をさらに世界に顕現すべき使命を深く感じます。

昨年伊万里市は「小京都」と名のれる「京都会議」にはいることができましたが、私はそれにあやかって伊万里は世界に波及している名前だから、それを名のる人々を集めて「国際伊万里会議」を開けるよう進めてみたいと思ひます。

おかげさまで今年には三か国語同時通訳のできる市民センターがオープンしますが、国際陶芸祭も平成八年には佐賀県を中心に日本で開かれ、伊万里の町を古伊万里のメッカとなるよう修景するとともに国際人としての教養をたかめ、昔をしのぐ国際交流のまちに位置づけたいと思ひます。

(竹内)

平成3年第4回定例市議会

一般会計 19億8,407万円を追加

伊万里市議会第4回定例会が12月3日から20日まで18日間開かれました。今回の議会には条例議案10件、一般議案13件、予算議案16件の合わせて39件の議案と報告2件が提出され、審議の結果、すべての案件が可決されました。なお、継続審査となっていた平成2年度の13会計の決算議案も審議、可決されました。

一般会計予算は19億8,407万円を追加して、予算の総額が221億4,437万円になり、前年同期に比べ15億8,671万円、7.7%の伸びとなりました。

今回の補正は、7月と9月の台風などによる災害復旧事業費

が4億3,093万円、そのほか給与改定に伴う職員の人件費の追加などです。補正の主なもの、次のとおりです。

- ▶ふるさとづくり基金積立金 1億2,482万円
- ▶減債基金積立金

- 3億6,433万円
- ▶土地開発基金繰出金 2億2,800万円
- ▶福祉基金積立金 1億3,800万円
- ▶ホームヘルプサービスチーム運営推進事業費 364万円
- ▶環境センター施設改修事業費 1億200万円
- ▶地域特産農作物生産総合振興事業費補助金 1,150万円
- ▶いまりヤングアグリフェスティバル実行委員会補助金 50万円
- ▶被災森林緊急整備事業費 1,100万円
- ▶松浦鉄道金武駅便所新設工事費負担金 142万円
- ▶韓国宣明会児童合唱団伊万里公演補助金 50万円

教育関係功労者を表彰

伊万里市教育委員会は、11月20日、教育行政や学校教育、社会教育、社会体育の分野で長年にわたり貢献された13人と1団体を表彰しました。

表彰された人は、次のとおりです（敬称略）

●学校教育関係

黒木淳吉（松島町、68歳）前田和茂（松島町、61歳）岡本侑郎（脇田町、60歳）筒井恣（波多津町、61歳）松尾

亘（松浦町、60歳）坂口勝幸（脇田町、61歳）原田正敏（立花町、60歳）志藤将士（新天町、60歳）牧瀬三男（二里町、59歳）

●社会教育・社会体育関係

故 小川光次（新天町、享年80歳）故 杉山熊夫（黒川町、享年68歳）松瀬 勲（二里町、78歳）前田雪男（立花町、65歳）民謡菊の会（徳永政夫会長）

立花台地2期工事の

用地取得

市は、立花台地第2期宅地造成工事を計画し、平成3年度に6万8,645㎡の土地を取得することになりました。全体の開発区域面積は12万5,455㎡で、工事は来年度から3か年計画で実施し、主として公共事業などで移転する人たちの代替え地として利用する予定です。

「せいら」を愛読くださる市民の皆さん、明けましておめでとうございます。



今年（平成4年）で「四」は「しあわせ」の「し」、「よかれ」の「よん」ですから幸福の年になることを信じてゆきたいと思います。

事実、厚生大臣ができて国とのパイプはさらに大きくなり、県も新知事が「住みたい県日本一」を目指して先頭に立って活躍しておられ、市では大型プロジェクトが次々に起工されて、すばらしいさい先が期待されます。

昨年十一月大阪で「伊万里牛まつり」をやりましたが、大阪市場の方の話では単に「牛」だけではなく「梨」や「きゅうり」についても伊万里産といえればそれだけで高値がつくということでした。まだこれからどんどんブランド品ができると思います。

交響詩伊万里の作曲のとき、



《広報新春座談会》ヨーロッパ研修に学ぶもの

ヨーロッパに 接点を求めて

2年前に始まったグローバル伊万里海外研修派遣事業
 去年も伊万里の若者11人が
 ヨーロッパを訪問しました
 若者たちはそれぞれの研修のテーマを決めて
 ヨーロッパに伊万里との接点を求めました
 ホームステイも体験して
 生活習慣などの違いを肌で感じたことでしょう
 歴史と伝統を誇るヨーロッパで学んだことを
 語り合ってもらいました

山本 グローバル伊万里海外研修派遣事業の担当者として、第1回のヨーロッパ研修に参加した関係で、私がこの座談会の司



◎凱旋門から見たパリ市街地

会をさせていただくことになりました。2回目の今回は、日程も前回と比べて2日間増え、さらに充実した研修ができたものと思います。本日は、11人の団員のうち座談会の構成上7人に集まっていたわけですが、直接ヨーロッパを肌で感じ、学んだことを、大いに語っていただきたいと思います。まず、ヨーロッパ全体の印象について、今回の団長を務められた堤さんからお願いします。

堤 どこの国に行っても、街の中心部に広々とした公園があったのですが、あれは、何かほっとしましたね。公園を取り囲む

出席者のみなさん
 (50音順)

〈パネラー〉

河原 敬さん (39歳、名村造船所)

古賀 信幸さん (37歳、九州電気保安協会伊万里営業所)

小嶋 勉さん (40歳、東洋ブライウッド九州工場)

立川 荒雄さん (39歳、陶芸タチカワ)

堤 茂樹さん (38歳、堤電気)

中井みどりさん (40歳、農業)

光田 和夫さん (40歳、市駅周辺開発室・グローバル伊万里海外研修派遣職員)

〈コーディネーター〉

山本洋一郎さん (36歳、市総務部企画課・グローバル伊万里海外研修派遣事業担当)



堤 茂樹さん

ように、商店街や公共施設が広がって街並みができているんですが、公園が憩いの場や待ち合わせの場として、街の核になっているのを感じました。それと、これは直接ヨーロッパそのものの印象ではありませんが、私たちを含め、日本人観光客がどこへ行っても多かったですね。立川 思ったより街の中が汚なかったのびっくりしました。街全体を見れば緑が多く、石やレンガ造りの建物が並んで調和

がとれているんですが、建物の一つ一つは汚れているし、車道のセンターラインも消えかかった所が多かったですね。小さいことは気にしないということかもしれませんが、日本人の感覚からしたら、もう少しきれいにできないかと思うような面もありました。

こんな広い農地で 梨づくりできたら

中井 私は山の多い大川野で農業をしていますから、どうしても広々とした農地が目につきました。イギリスやオランダは全然山がなくて、広い農地が延々と続いているんですよ。それを見ながら、こんなところで梨づくりができたらいいだろうなあ、とうらやましくなりました。台風もないと聞きましたので、なおさらそう思いました。



河原 敬さん

河原 私の家も少し農業をしていますから、日本と国土があまり変わらないイギリスで、どうしてもあんなに広い農地が持てるの不思議でした。それと、多くの街で見かけたのですが、道路や交差点、橋などに、その街の英雄やギリシャ神話の女神などの大きな像が建てられていたの

が印象に残っています。石やレンガ造りの建物もそうでしたが、その一つ一つが重厚で、歴史を感じました。

光田 どの街も古い建物を大切に残し、新しく建て替えるときも周囲に合わせた建て方をして、歴史的な街の景観を守っていました。だから、歴史を背景にした、その街の雰囲気というか個性があふれていて、ヨーロッパの人が自分たちの街に愛着と誇りを持っていることを強く感じました。

看板、電柱がない

小嶋 街の景観といえば、大都市から小さな村まで、看板や電柱をほとんど見ませんでした。ヨーロッパへ行くまではなんともなかったんですが、伊万里に帰ってきてからは、看板や電柱がとても目障りですね。

古賀 電柱については、私の自主研修のテーマでもあったので関心があったのですが、確かに電柱も電線もほとんど見ませんでしたね。オランダのプリンセス・ホフ博物館に行って驚いたんですが、^{かいし}碇子が展示してあるんですよ。それほど縁がないということでしょうね。

山本 大川内山では、今年度か

らメインストリートの電柱を移設する工事を始めています。移設にしたのは、地中化が地形の関係で難しかったからですが、完成すればずいぶんすっきりした景観になると思いますから期待してください。ところで古賀さん、ヨーロッパで電柱の地中化が進んだのはなぜですか。



古賀 信幸さん

古賀 もちろん景観のためでもあります。それよりたび重なる戦争体験が大きいんじゃないでしょうか。配電設備を戦禍から守るために地中化する必要があったからだと思います。あと、日本に比べて雨量が少なく、地形は平坦で、街並みの基本が石とレンガ造りの建物で街自体の変化が少なかったことなどが関係していると思います。

山本 よくわかりました。今、気候、風土の違いという話がありました。そのことで何か感じたことがありましたか。



○オランダの田園風景

小嶋 ヨーロッパの人たちが、なぜ夏に長いバカンスを必要としているのか、実感としてわかりました。研修中もどんより曇った寒い日がほとんどでしたが、10月から翌年の3、4月までこんな天気が続くそうですから、夏になれば誰だって南の方に行って、思いっきり太陽の恵みを浴びたいからなのでしょうね。



小嶋 勉さん

古賀 私も同感です。伊万里へ帰ってからはしばらくは太陽がまぶしかったですね。2、3日は目を細めないといけないくらいで、これが太陽光線の違いかと痛感しました。

光田 公園が広いのも、夏になったら一斉に公園へ行って日光浴をするためですからね。

山本 文字通り、気候の違いを肌で感じたわけですね。では次に、今度の研修にはホームステイも組まれていましたが、中井さん、感想はいかがでしたか。

成長した子ども

親とは別居

中井 生活がとても質素でしたね。オランダで普通の民家にホームステイしたんですが、必要最少限の家具や道具しかありませんでした。それに子どもが成長

したら親と離れて別々に暮らすという考えが、私にはどうしても理解できませんでした。「私の家は親といっしょに住んで家族で農業をしています」と話したら、とても驚いていましたが、私は私で、親といっしょに暮らさないということがとても不思議で…。

堤 ヨーロッパでは10歳から13歳で将来の職業を決めることになっていて、能力に応じて学校を選ぶそうです。そうした教育制度自体、子どもに独立心を植えつけているのでしょうか。

小嶋 私がホームステイした家庭も子どもたちは独立して別に住んでいるということで、子どもが使っていた部屋が私の寝室にあてられていました。本を読んだり、たまにボートセーリングに行ったり、森を散策したりするのが日常の生活ということでした。日本の家庭と比べて、



◎採光と換気をくふうして、明るくきれいなシュツットガルト(ドイツ)のアーケード街

調度品などはずいぶん質素な印象を受けましたが、自分たちのライフスタイルをととても大切にしているようで、暮らしぶりに余裕が感じられました。

山本 生活習慣や文化に対する考え方は、やはり歴史の積み重ねで違ってくるのでしょうか。ところで、施設を見学された印象はどうでしたか。

シャッターのない

明るい商店街

光田 ドイツのシュツットガルトの商店街が印象に残りました。日曜日で商店街は休みでしたが、シャッターはなく、ウインドーショッピングを楽しんでいる人がけっこういました。ショーウィンドーには照明がつけられ、中にはテレビをつけたままの店もあり、本当に休みかな、と思

ったくらい明るかったですね。伊万里の商店街もシャッターをなくし、夜10時ぐらいまで照明をつけるようにしたら、商店街も明るくなって、人も憩えるんじゃないかと思います。

河原 私は、ルーブル美術館に圧倒されました。それまで教科書や写真集でしか見たことがなかったのですが、目の前にあったのですから、ただ感激でした。これだけのものを集めたこと自体、すごいなあと思いました。

山本 堤さんは、市と大学と州などが共同で企業育成をしているイギリス

のサイエンス・パークに興味があったということです。

堤 大学が核になって、そこにハイテク関連の企業が集まって一つの街をつくっていましたが、街全体がいわば技術のシンクタンクといった趣でした。伊万里にも技術力の高い企業がたくさんありますから、大学は無理としても、これらの技術を集めた研究施設のようなものがあれば、企業誘致も図れ、既存企業の技術力ももっと高めることができ、有能な人材の育成も図れるのではないかと感じました。

山本 農業の分野では、伊万里でも佐賀大学の協力を受けて、「21世紀伊万里村づくり塾」を実施しているところですが、中井さん、オランダの花市場はいかがでしたか。



中井みどりさん

中井 オランダから23時間で日本に届くという話でした。伊万里でも農道空港ができれば、わざわざオランダから買わなくても日本の方が集約農業も進んでいるし、もっとコストも安く作れると思うので、私もがんばって梨だけでなく、フライト産品にも取り組んでみようかなあ、と思っています。

山本 さきほど自主研修の話がでしたが、立川さんのテーマは焼き物と都市づくりというこ

とでしたが…。

立川 それが、最初は困ったんですよ。伊万里津大橋の大つぼのような使い方をしている所はないかとずいぶん搜したのですが、ありませんでした。



立川 荒雄さん

それもそのはずです。ヨーロッパの人にとって焼き物は宝石にも似た貴重品ですから、焼き物を戸外に出して飾るなど思いもつかないことでしょう。そこでこれは伊万里にとってはチャンスだと思い直しました。というのは、表にとびだした美術館をさらにもう一步進め、伊万里津大橋の大つぼのように、手で触れられるかたちで焼き物を街中に広げたら、ヨーロッパに負けない、すごいまちづくりができると思ったわけです。

山本 もしそういうまちづくりができれば、ヨーロッパの人はなんてぜいたくな街だろうと、興味を持つでしょうね。

古伊万里のふるさと

外国の美術館でPR

立川 それと、古伊万里を展示してあるヨーロッパの美術館に、伊万里の風景をかいた絵はがきを置いたらおもしろいだろうなあと思っています。それを見た人が、こんなところから古伊万里は来たのかと、伊万里に親しみを持つんじゃないかと考えたからです。

山本 今回は自主研修もあって、皆さん大変だったと思います。最後にまとめということで12日間のヨーロッパ研修で学び、体験したことを、これからの伊万里のまちづくりなり、自分の生活の中で、どう生かしていったらいいか、話していただきたいと思います。

河原 ヨーロッパでは、景観が素晴らしい場所は、ほとんどとっていいくらい州や市で厳し

◎オランダ花市場の競りの様子





○フライブルク(ドイツ)では車を締め出して路面電車が復活

い規制をしていました。建物の高さ、色あい、そして看板などもです。住宅を建てる時も、ちゃんと場所が決まっています。目指そうとする街並みをイメージして、それを基にまちづくりを進めていると感じました。私はカメラが趣味で、よく大川内山の景色を撮るのですが、電柱など余計なものが飛び込んで来るんですよ。電柱を移設するというのを聞いて、どんな景色が写せるか楽しみにしているのですが、建物なども周辺の環境にあわせて建てるようにしたら、もっとすばらしい景観をつくれるのではないかと思います。それと、ルーブル美術館とまではいなくても、例えば古伊万里を一堂に集めたような、焼き物だけで1日つぶせる施設がぜひほしいですね。

小嶋 ゼーバッハ村は村民あげて地域おこしに取り組んで、人口わずか1500人の、何にもなかった貧しい山村を、ドイツでも有数の観光地としてよみがえらせています。また、同じドイツのフライブルクでは路面電車を復活させて排ガス対策に取り組んで、環境にやさしいまちづくりをしていました。こうしたことを進めるうえでは、おそらく反対意見もあったと思いますが、

それがひとつにまとまったのは、やはり自分たちの街を大事に思う気持ちをみんなが持っていたからだと思います。そうした郷土愛は、1日、2日ではできません。やはり、子どものころから地域を愛する心を育てていくことが必要ではないかと考えます。

伊万里を知ることが
まちづくりの第一歩



光田 和夫さん

光田 ヨーロッパの人たちは、自分たちの街のことをよく知っているんですね。だからその歴史、文化をととても大事にしているんだと思います。そして、それが街のたたずまいにも個性となって表れているのではないかと感じました。イギリス王室にも製品を納め、歴史と伝統を誇る陶磁器製造会社のロイヤル・

クラウン・ダービー社で、「イマリの名前とイマリの色、図柄を200年以上前から使わせてもらい、イマリにはとても感謝しています」と社長さんに言われて大変感激しましたが、伊万里には、古伊万里で世界に名をさせた焼き物文化を始め、多くの歴史や文化があります。今、伊万里市は郷土を知るための「伊万里学」の確立を進めています。これが市民の人たちの隅々にまで浸透することが、個性あるまちづくりのための、まず第一歩ではないかと思います。

外国人を意識しない
真の国際交流を

古賀 伊万里が本当に国際化するためには、外国人ということを意識しないでつきあえる人間を、できるだけ多く育てることが大切だと思います。オランダで、向こうの人に3回手を振ってみたんですが、3回とも振り返ってくれました。たったそれだけのことで、私がオランダの人に大変好感を持ったように、フランクな気持ちで外国の人とつきあうことが本当の国際交流につながるんじゃないかと。も



○阿姆斯特ダム(オランダ)の跳ね橋

うひとつは、伊万里という名は、私たちが思っている以上に世界で通用していますので、これを利用しない手はないと思います。焼き物だけでなく、ほかの産業でも大いに伊万里の名を使うことによって、もっと伊万里をアピールできるのではないかと思います。

中井 嫁不足と後継者難が日本の農家にとって切実な問題になっています。ヨーロッパでもドイツやスイスの山間部では嫁不足が深刻な問題になっていましたが、イギリスの大規模農家やオランダのハウス栽培農家には、そうした心配はないということでした。日本でももうかる農業をすれば、きっとお嫁さんも来るだろうし、後継者も育つと思います。そして農業をしている人自身ももっと農業に誇りを持つことが大切なのではないでしょうか。

まちづくりは 長期展望で

立川 ヨーロッパへ行って、伊万里が世界に立ち向かうためには、やはり焼き物中心のまちづくりしかないと感じました。



◎ペンション50軒が建ち並ぶゼーバツハ村(ドイツ)

そして、そうしたまちづくりは決して1、2年でできるものではありませんから、思い切っては50年、100年計画でいってはどうでしょうか。話題にもなりますし、またそれくらい力を入れたまちづくりをしなければ、50年、100年後の人間に感動を与えることはできないと思います。

異業種交流の輪を広げ ネットワークをつくる

堤 今回の研修に参加して、ヨーロッパの歴史や文化などにじかに触れることによって、多くのことを学ぶことができました。それと同時に、改めて伊万里を見つめ直すことができたんじゃないかと思っています。私たち11人はそれぞれ職業も違います。だから、これからの伊万里のあり方についても、一人一人がそれぞれ違う立場、考え方で何かを感じているはず。12日間のヨーロッパ研修を通じて、私たちは11人のネットワークを持つことができました。また、今度、1回目のグローバルに参加された皆さんとも会合を持つことにしていますが、こうした人の輪を伊万里の各分野に広げていって、みんなで力を合わせて、

これからの伊万里のまちづくりのためにがんばっていきたくて考えています。



山本洋一郎さん

山本 皆さんの話を聞いて、これからの伊万里のまちづくりは、伊万里の個性を十分生かして、しかも長期展望に立って進めることが大事だと感じました。そうしたまちづくりは、行政だけではできません。やはり、市民一人一人の支えが大切だと思います。今、市内各地で若い人たちが中心となって、盛んに地域の活性化に取り組んでいます。話があったように、皆さんは今回の研修でそれぞれ立場の違う11人のネットワークができたわけですが、これからの活動を通じてさらにこの輪を広げ、そして、ヨーロッパ研修で学んだことを生かし、伊万里のまちづくりのためにご活躍されることを期待しています。本日はどうもありがとうございました。



★ わが家のPOPOPO ★

水田 衣美ちゃん
(1歳5か月)
野夫幸・弓美子さんの長女
えくぼおうじが大好きで、超
オテンバな女の子です。健康だ
けがとりえかな？素直でやさし
い子に育ってくれたらいいなと
思います(新天町1区)

ほほえみ ひろば

この広場はみなさんのページです。
あなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

国際交流の夕べ 9か国 36人の外国人も参加

いまり善意通訳者の会(いまりSGG、貞方英嗣会長、52人)主催の「国際交流の夕べ」が11月23日中央公民館で開かれ、外国人を含む120人が出席。アメリカ在住の道井孝子さんの講演を聞いたあと、記念撮影をしたり、料理を囲んでの懇談で、和やかな国際交流を楽しみました。
いまりSGGは、昭和63年に結成し、外国人観光客にボランティアで通訳をしています。こ

の催しは、市民レベルでの国際交流を進めようと、同会が毎年実施しているものです。
ことしの交流会には、SGG会員や一般市民のほか、英語指導助手のドーン・フィールドさんや国際交流室で研修中の宋毕徳さん、伊万里山岳会とチェオ・ヒマール登頂を共にしたネパール



◎食事をとりながら懇談するみなさん
隊の隊長グプタ・B・ラナさんたち9か国36人の外国人が参加。中国・大連市の縫製研修生10人からは、水ぎょうぎなど本場の中国料理もふるまわれました。

郷土の文化財

色絵の大皿を展示

～陶器商家資料館～



陶器商家資料館では江戸時代の伊万里津から積み出された古伊万里などを展示しています。開館半年を迎え、古伊万里を中心に展示替えを行いました。写真はその中の1点で、色絵花籠風俗文大皿といっています。今から約300年前の元禄年間から享保年間の始めにかけて製作されたもので、見込み(皿の内側部分)に花籠と人物の文様を配しています。
花籠文は中国磁器にもみられる文様ですが、人物の構図には、安土桃山時代から江戸時代前期にかけて流行した風俗画の影響が色濃くみられます。
大きさもいわゆる二尺皿といわれる程に大きなもので優れた作品です。
資料館にはこのほかにも19点の古伊万里や、当時の伊万里商人の教養の高さをうかがわせる絵画や書籍、三味線なども展示されています。

[陶器商家資料館への問い合わせは☎27934へ]

アマチュア劇団 市内で2つ目

突の会旗揚げ

市内に2つ目のアマチュア劇団「突の会」(西田カツオ団長)が誕生し、去年の12月、2人芝居「舞え舞えかたつむり」で旗揚げ公演を行いました。

団員は西田団長のほか桑原政光さん、山善ヒロシさん、杉本るみさんの4人と少人数ですが「年配の人にも楽しんでもらえる芝居をやりたい」と意欲を燃やしています。

西田さん、桑原さんたちは、昭和62年に劇団「くろねこかん」を設立し、4年間演劇活動が続けてきましたが、「団員が若くなり、パワーとかチームワークの部分でやっていた傾向があって…。それはそれで楽しいので



ですが、もっと表にあらわれない人間の心のうちを表現できるような芝居を目指していきたい」と、新しい劇団設立を思い立ったそうです。

突の会の機関誌を読んで、激励の手紙や、「親子でみれる芝居をやって」などの声が寄せられ、「責任を感じるとともに、期待に応えていきたい」と張り切っています。

ほほえ美さん



井本 真里さん(19)

南波多町重橋(射手座・A型)

伊万里情報センター(IIC)に入社して1年目です。社会の厳しさを感じています。失敗は笑ってごまかしていますが…アハハ。血液型A型でも面倒くさがり屋で、A型が薄いんですかね。

21歳で結婚!!願望なんです。頼りがいがあるって、わがままも許してくれる心の大きい人…いませんが。

四季の詩

侘助の一輪の紅初茶の湯
連れ立ちて帰る夜の路とぎれたる

話のあひに仰ぐオ리콘

山代町立岩 山本 とも

新天町 田中 南嶽

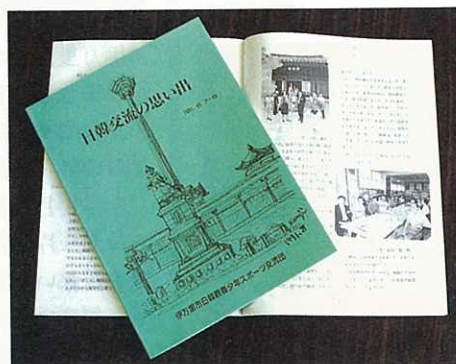


日韓親善少年スポーツ交流団 交流の思い出冊子にまとめる

伊万里市日韓親善少年スポーツ交流団は、昨年8月韓国・釜山市を訪問したときの思い出を、このほど冊子にまとめました。B5判、50ページでタイトルは「日韓交流の思い出」。交流団に参加した子どもたちや先生たちの

感想がづらわれています。

この交流は、スポーツを通じて子どもたちの国際感覚を高めようと、伊万里市スポーツ少年団(川平武盛本部長)が平成元年に85人の選手団を釜山市に派遣して剣道、野球、サッカーの交流を行ったのがきっかけで、平成2年には釜山直轄市剣道会の32人が伊万里市を訪れています。昨年の交流は3回目、山代中と国見中の剣道部員12人、南波多少年野球部員20人、それに指導の先生など、総勢53人が参加しました。





美術協会展 46点の力作展示



第9回伊万里美術協会展（村岡 一会長）が12月6日から8日まで、中央公民館で開かれました。

協会展には同協会の会員31人が、10号から100号までの油彩や水彩、版画などバラエティーに富んだ46点の作品を出品。会場を訪れた美術愛好家は、展示された作品をひとつずついいいに鑑賞していました。

同協会は、会員31人で構成。年1回の協会展を中心に活動を行っています。

秋の1日ウォークラリー

平戸市と生月町を結ぶ「生月大橋」の開通記念ウォークラリーが11月7日生月町で行われ、地元の生月や平戸はもとより、伊万里や佐世保などから家族連れなど約2,400人が参加してにぎわいました。

コースは約4キロ。地図を片手に、史跡や名所など9つのチェックポイントでクイズに答えながら、心地よい秋風に誘われて歩け歩け。2時間ほどかけてコースを回り、隠れキリシタンと歴史の島の1日を楽しみました。



伊中ふれあいコンサート ブラスバンド

伊万里中学校ブラスバンド部（田中亜希子部長、44人）が11月7日、本町アーケードの親和銀行前広場で、「ふれあいコンサート」を開きました。

同部は、啓成中学校の開校に伴って部員が半減。部活動への影響が心配されましたが、部員は一丸となって毎日の練習に励んでいます。この催しは、その成果を市民の皆さんにぜひ聴いてもらいたいと開いたもので、会場には買い物途中の人など大勢が詰めかけました。



小中学校音楽会 合唱・吹奏楽発表



伊万里市中学校音楽会が11月16日、市民会館で開かれました。音楽会には市内の全中学校10校が出場し、合唱や吹奏楽、ピアノ連弾、ギター独奏などごろの練習の成果を発表しました。

今年4月に開校した啓成中学校は、伊万里市出身の詩人・片岡繁男さんの作詞、藤田耕平さん作曲による新しい校歌「光りよ命よ」を披露しました。

翌17日には小学校音楽会が同会館で開かれ、市内の8小学校が出場。合唱、合奏の発表を行いました。



童謡祭 '91

幼いころにだれもが歌った懐かしい童謡を保育園児たちと歌おうと、「いまり童謡祭'91」が12月8日、市民会館で開かれました。

童謡祭には、大久保保育園など6保育園のほか、老人クラブやコーラスグループなど12団体、367人が参加し、「とおりゃんせ」や「ななつのこ」などを大きな声で合唱しました。中国大連市からの研修生宋毕徳さんたち11人も特別出演し、中国の童謡「好い猫ミミ」などを披露しました。



ジョイフルトレイン 筑肥線で秋の旅



ふるさとの鉄道として地域の人たちに愛着を感じてもらえる筑肥線にしていこうと、筑肥線電化促進期成会（竹内通教会長）が11月24日、伊万里～唐津、唐津～伊万里間をそれぞれに往復する特別仕様の列車「ジョイフルトレイン」を走らせました。

この筑肥線の旅には定員の2倍を超える応募があり、関係者もニコニコ顔。唐津からのお客さんは、松浦一酒造のかっぱを見学したり、大川内山で楽焼きをしたり、筑肥線の秋の旅を楽しみました。

山 ン 寺 祭 り



恒例の山^{やま}祇神社の大祭が12月1日、山ン寺で行われました。「毎年、この日になるとなぜか寒さが厳しくなる」といわれていますが、ことしはおだやかな日とで、また日曜日とも重なったため、大勢の参拝客でにぎわいました。

本殿の前では、山代町内の剣道クラブの子どもたちによる練習試合が、また広場の前では、女子も加わって滝野小・中学校の子どもたちによる相撲大会が行われました。

火の粉舞う 取り追う祭り

12月10日二里町大里の神之原八幡宮で、火祭り神事の「取り追う祭り」が行われました。

たいまつ^{たいまつ}の火の粉が舞うなかで、地区の若者が、ざるに入った強飯（こわい）をめぐって激しい攻防を繰り返す勇壮な祭りです。

この祭りは、南北朝時代に当時の神官菊池武重が、火中訓練をしたのが始まりといわれています。昭和56年、29年ぶりに復活し、毎年12月の第一卯の日の前夜に行われています。



第22回市民バレーボール大会

南波多町アベック優勝



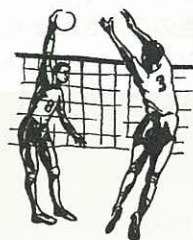
女子の部 黒川町対二里町戦

11月17日、第22回市民バレーボール大会が、男子は伊万里高校体育館、女子は国見台体育館を会場として行われました。同大会は、各町公民館対抗として行われているもので、男子の部には7チーム、女子の部には9チームが参加し、力の入った試合を展開しました。

試合はトーナメント方式で、30歳未満3人、40歳未満3人、40歳以上3人というチーム編成で行われました。会場には大きなかけ声やスパイクの音が響き、熱戦が続きましたが、男女とも南波多町が制しました。

成績は、次のとおりです。

	男子	女子
優勝	南波多町	南波多町
準優勝	黒川町	伊万里町
3位	伊万里町	山代町



伊西地区中学生新人軟式庭球

男子 森田・池田組(国見) V

伊西地区中学生新人軟式庭球大会が11月23日と24日の両日、国見台庭球場で行われました。

試合はすべてダブルスの個人戦で、3年生が抜けたあとの戦力をうかがう好機とあって、地区内の中学校から男子46組92人、女子52組104人が参加して熱戦を展開しました。

上位の成績は次のとおりです(敬称略)

<男子>優勝 森田・池田組(国見) 準優勝 中村・川久保組(西有田) 3位 今泉・山田組(国見)、中島・横石組(西有田)

<女子>優勝 坂口・石橋菊組(西有田) 準優勝 長田・大久保組(山代) 3位 諸岡・加々良組(山代)、石橋恵・高橋組(西有田)



伊万里西松浦職域剣道

伊万里教職員(団)が優勝



第17回伊万里市西松浦郡職域剣道大会が12月1日、国見台武道館で開かれ、9チーム100人が気迫のこもった熱戦を展開しました。成績は次のとおりです。

<団体戦>優勝 伊万里教職員 準優勝 伊万里信用金庫 3位 九州電子金属

<個人戦> (敬称略)

◆3段以上の部 優勝 野中正一(鳥羽電機) 準優勝 弘川和義(九州電子金属) 3位 松尾保典(黒木建設)、松林勝美(伊万里市農協)

◆4段以上の部 優勝 前田新(シンコー薬品) 準優勝 山崎伸二(松浦小教諭) 3位 山本直樹(立花小教諭)、古賀裕一郎(伊万里商教諭)



第38回市内一周駅伝競走 東山代 30年ぶりの優勝

浦ノ崎駅前から一斉にスタート

第38回伊万里市内一周駅伝競走大会が、浦ノ崎駅前をスタートし市内全町をまわって市役所へゴールする11区間、63.2kmのコースで行われ、各町から選ばれた選手たちは沿道からの温かい声援を受けて力走しました。

レースは、11区間のうち5区間で区間賞をとった東山代が終始安定した走りをみせて好位置をキープし、昭和36年以来30年ぶり、2回目の優勝を勝ちとりました。

成績は、次のとおりです。
優勝 東山代 (3時間37分04秒)

- 準優勝 波多津 (3時間40分23秒)
3位 山代 (3時間40分35秒)
④黒川 ⑤南波多 ⑥大坪

1月のスポーツ

12日(日)

- 波多津町内一周子ども駅伝大会
12時スタート 波多津中
- 波多津町親子卓球大会
8時 波多津中

19日(日)

- 二里町子ども会卓球大会
8時半 国見台体育館

2月2日(日)

- 大川内町民卓球大会
8時半 大川内小

- ⑦松浦 ⑧二里 ⑨大川
⑩牧島 ⑪大川内 ⑫伊万里
躍進賞=二里 (11分00秒短縮)

市内一周駅伝大会順位表(5区、8区は再スタート)

着順	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	累計
1	東山代			東山代	松浦		波多津	東山代			波多津	東山代
2	黒川			大川	二里		東山代	松浦			東山代	波多津
3	牧島			黒川	大坪		二里	二里			山代	山代
4	大川内			大坪	波多津		大坪	波多津			南波多	黒川
5	大川			山代	黒川		山代	山代			黒川	南波多
6	松浦			松浦	東山代		黒川	南波多			松浦	大坪
7	山代			牧島	山代		南波多	黒川			大川	松浦
8	南波多			南波多	南波多		松浦	大川内			牧島	二里
9	大坪			波多津	大川		大川	大川			大坪	大川
10	伊万里			二里	牧島		大川内	大坪			大坪	牧島
11	二里			大川内	大川内		牧島	牧島			大川内	大川内
12	波多津			伊万里	伊万里		伊万里	伊万里			伊万里	伊万里

東西松浦駅伝予選会

南波多・松浦・二里 本大会へ

今月26日に行われる東西松浦駅伝大会の予選会が12月8日、国見台陸上競技場で開かれ、伊万里・西松浦地区の9チームが参加しました。予選会は1チーム10人が5kmを走り、上位8人の合計タイムで5位までが本大会へ出場できるもので、伊万里

市から南波多体協と松浦体協、二里体協が出場を決めました。また、前回の大会で2連勝を飾った九州電子金属をはじめ、10位までに入った伊万里体協、伊万里啓成、東山代体協、波多津体協の計8チームが、本番の松浦路で健脚を競います。



●本大会への出場権をかけて力走する選手たち

母子・寡婦家庭へ修学資金等の貸付

母子・寡婦家庭の児童を対象に、就学支度資金や修学資金などの貸し付けを次のように行います。

- 対象 平成4年度新たに入学する児童、生徒、または在学中の児童、生徒
- 貸付金の種別と申請時期
就学支度資金 1月22日～2月21日（今年入学予定者に限ります）

- 修学資金 2月1日～3月2日
- 修業資金 1月22日～3月2日
- 校区別に申請日を指定します
- 申込先 市福祉事務所
婦人児童係
- 提出書類 申請書、戸籍謄本、住民票謄本、所得税・税額証明書（所定の用紙有）など
- ※詳しいことは、市福祉事務所婦人児童係（☎③2111内線258）または母子相談室（内線265）へ。

新春読書感想文コンクール

- 応募資格 県内小・中・高校の児童生徒、勤労青少年および成人
- 対象図書 ①自由図書＝教科書、雑誌を除く図書 ②課題図書＝主催者が指定する図書（小・中学生のみ）
- 原稿枚数 小学生は400字詰原稿用紙3枚、そのほかは400字詰原稿用紙5枚。1行目題名、2行目氏名、3行目から

- 本文中、原稿は自筆
- 締め切り ①児童生徒…地区事務所の締め切り日 ②勤労青少年および成人…平成4年1月25日（土）
- 送り先・問い合わせ先
①小・中・高校生は各学校を通じ各地区の学校図書館事務局②勤労青少年・成人は県立図書館奉仕課（佐賀市内二丁目1-41 ☎0952-24-2900）

宝くじ普及広報事業で

女性消防団員の制服購入

ふるさと消防団活性化事業の一つとして、自治総合センターから「宝くじ普及広報事業」の助成を受け、女性消防団員の制服を購入しました。

消防出初め式

- 1月5日（日）10時半～
- パレード 5色放水
- 八谷搦～伊万里中学校



アルミ缶回収に

ご協力を

現在、社会的問題となっている省資源、省エネルギー、ゴミ対策の一つとして、アルミ缶の回収を行います。

- 缶の搬入 平成4年1月20日の午前10時半までに搬入してください
- 搬入場所 市の各町公民館、市農協各支所、南波多農協、大川町農協（このほかの場所は回収しません）
- 回収時間 1月20日の午前10時から回収を開始しますが、あとの回収順番になる所は時間がずれこみます
- ※アルミ缶の買い上げ価格は変動しています。
- 問い合わせ先 市民相談室
（☎③2111 内線225）

世界一の児童合唱団

ジョイントコンサート

世界アマチュア合唱コンクールで第1位となった韓国の宣明会児童合唱団が伊万里で公演。伊万里少年少女合唱団とジョイントコンサートを行います。

- 日時 平成4年1月24日
18時30分開場
- 会場 市民会館
- 前売券 1,000円
親子券 1,800円
- 問い合わせ・申し込み先
市教育委員会社会教育課（☎③2111 内線453）か各町公民館へ

えびすラリー参加者募集

- 期 日 平成4年1月15日
- 集 合 親和銀行前 12時半
筆記用具持参のこと
- 競技方法 えびす所在地を巡る
スタンプウォーキングラリー
- 商 品 真鯛、スポンサー賞ほか
- 参 加 1チーム2人で、小
学4年生以下は保護者同伴
- 参加料 無料
- 申込締切 1月15日(当日可)
- 申し込み・問い合わせ先



今坂呉服店 (☎③1202)
谷口呉服店 (☎③2692)

第3回 招福伊万里えびす祭 1月19日(日)

午前11時 七福神仮装パレード(伊万里神社～親和銀行前)

豪華景品が当たる福引大会

(正午～午後4時 アーケード内・親和銀行前)

※福引券は1枚500円。伊万里商店連合会
加盟店か大型店で求めください。

500円で 鯛500匹・清酒1,500本ほか
空クジなし (主催：伊万里商店連合会)

今月の市民相談

場所：市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

- 法 律 9(午後のみ)、16(木)
- 社会保険 10、17、24、31(金)
- 交通事故 14、28(火)
- 行 政 16(木)
- 人 権 7、21(火)
- 身障者 27(月)
- 青少年 23(木)
- 消費生活 6、13、20、27(月)
- 婦人就業 8(木)、14(火)、22、29(水)

1月の市民会館行事

- 15日(日) 10時 成人式
- 24日(金) 19時 1,000円 親子券1,800円
韓国宣明会児童合唱団ジョイントコンサート
- 25日(土) 18時20分 500円
教育講演会
- 30日(木) 18時30分 1,500円
森山良子コンサート
- 2月1日(土) 14時と18時半
伍代夏子ショー S席5,000円
A席4,000円 B席3,000円
- 2月2日(日) 13時40分
子どもアニメ映画会 600円
- 2月3日(月) 10時半と13時40分
ぬいぐるみのミュージカル A席1,800円
B席1,400円

障害者の

タクシー利用 1割引

佐賀県バス・タクシー協会は、
12月21日から身体障害者、精神
薄弱者の人に、タクシー料金の
割引を行っています。割引
引きは、1割引きです。

この制度は、県内の全タクシー
で適用されます。タクシーを利用
される時は身体障害者手帳
か療育手帳を提示し、割引証明
書(福祉事務所に準備していま
す)を提出してください。

※詳しくは、市福祉事務所福祉
係へ(☎③2111 内線261)

喜多選手と走ろう

10キロロードレース

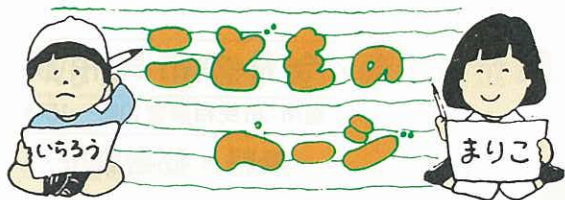
市農協主催のJ Aさわやか10
キロロードレース大会への参加
者を募集します。

- 日 時 平成4年1月12日
13時スタート
- コース 市農協会館～大川内
山折り返し 10キロメートル
- 参加資格 伊万里市、西松浦郡
在住で高校生以上
- 参加料 無料
- 締切り 平成4年1月8日
- 申し込み・問い合わせ先
市農協企画監理課(☎③5555)

伊商・有工定時制

生徒募集

- 学 科 伊万里商業高校…商業科
有田工業高校…窯業、デザインコース
 - 出願期間 2月17日、18日、19日の3日間
 - 学力検査 全日制と同じ
- ※詳しくは学校へ。

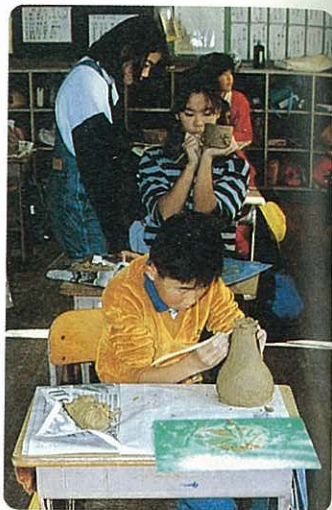


大川内小で焼き物教室

全校生徒で焼き物に挑戦

大川内小学校（地原 實校長、216人）の全校児童が11月30日、ゆとりの時間を利用した「陶芸教室」で、焼き物づくりに挑戦しました。

子どもたちは材料の陶土とはげを手に動物や皿、つばなど思い思いの作品に取り組みました。児童の父親でもある畑萬陶苑の畑石真嗣さんたち窯元の7人が



◎6年生はさすがに上手

山など窯元が多く、また保護者の6割が窯業に関係した仕事をしていることなどから、10年ほど前から「陶芸クラブ」も活動しています。

この日作り上げた作品は、地元の瀬貞製陶所で焼いてもらい、今月下旬「校内やきもの展」で展示することになっています。

◎「こ」はどうするんですか



講師となって、子どもたちの手を取りながら熱心に教えてくれました。

大川内小学校は、校区内に焼き物の里として知られる大川内

伊万里小はもちつき

ペッタン、ペッタン、ゴトツ

11月26日、伊万里小学校（泉建一校長、718人）で、5年生125人の子どもたちと育友会5年分会（戸田政志分会長）の父母40人がもちつきを楽しみました。

同校では、5年生の社会科の実習で、約33アールの田んぼを借りて子どもたち自身が田植えをし、11月9日にはカマを使って刈り入れを終わったばかりです。



★さっそく試食。「いっしょに食べませんか」

取れたもち米は103キ。もあり、この収穫に感謝する意味で、もちつき大会が行われました。

子どもたちは、心配そうに見守るお父さん、お

母さんの前でペッタン、ペッタン、そしてときどきうすをたたいてゴトツという音をたてながら、慣れない手つきでもちつきに挑戦。体育館の中ではつきたてのもちに次々にあんが入れられ、またたく間に3,000個のあんもちができました。